

2/7・2/13 医療法人有働会 有働病院と (株)旭製作所が義援金を贈呈

2月7日に医療法人有働会 有働病院、2月13日に(株)旭製作所が「令和6年能登半島地震災害義援金」を贈呈しました。これは、1月に発生した能登地方を震源とする地震の被災者を支援するためのものです。有働病院の松野看護部長・長谷川さん、(株)旭製作所の池田取締役が市長のもとを訪れ「熊本地震では全国からさまざまな支援をいただきました。今は我々が支援をするときです」と語りました。この義援金は、日本赤十字社を通じて、被災者支援に使われます。



▲有働病院

▲(株)旭製作所

2/3 男女共同参画フォーラム 観客と一体でジェンダーを考える

「0から100とそのあいだ～ジェンダーの歴史と現在、そして未来～」を演題に、大牟田市出身の歴史学者、北川智子さんによる講演を行いました。北川さんは客席を回り観客に質問しながら、豊臣秀吉の妻「寧々」が刀を持たずとも1人の人間として戦国の世に大きく関わる役割を果たしていたことなどを話し、ジェンダーを読み解いていきました。同日に、サイズアウトした子ども服を譲渡する「おさがり交換会」も実施。合わせて約370人が来場しました。



▲講演会

▲おさがり交換会

地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

講演会



2/11 中央地区協議会

中央地区協議会主催の講演会が中央区団地集会所で行われ、熊本を拠点に活動するタレント慶徳二郎(山内 要)さんの終活セミナーを開催しました。葬儀会社に勤務したことがあり、終活アドバイザーの顔も持つ慶徳さんは、終活に関する話をユーモアを交えながら解説。参加者は笑いあふれる終活セミナーを楽しみました。

どんどや 第14回二小校区



1/21 一小校区元気づくり委員会

一小校区元気づくり委員会は1年の始まりを校区民で祝うとともに、伝統行事を次世代へ伝えることを目的に「どんどや」を開催しました。当日は東屋形の田んぼにやぐらを組み、一小の年男男女をはじめ、来賓が点火。参加者は天高く燃え上がる炎を前に無病息災や家内安全を祈願しました。



100歳おめでとうございます!

たけだ 武田 チヨコさん(大和区)

2月15日に100歳を迎えました。高千穂出身で、炭鉱で仕事をしていた夫と結婚後に荒尾市へ。家事や子育てをしながら内職も行い、献身的に家庭を支えてきました。編み物が趣味で、家族の衣服なども作っていたそうです。長寿の秘訣は、「好き嫌いなく何でも食べること」で、今でも3食欠かさず食べています。



100歳おめでとうございます!

みやもと りきまつ 宮本 力松さん(宮内区)

2月1日に100歳を迎えました。現役時代はコンクリート関係の仕事と農業を兼業していました。地域活動にも積極的に参加し、地域の発展に貢献してきました。趣味は盆栽や旅行。長寿の秘訣は、「一日一日を大事に生き、常に感謝の気持ちを持つこと」だそうです。市長の表敬訪問を笑顔で迎え、周囲の人にも「ありがとう」の言葉を述べていました。



100歳おめでとうございます!

いわさき はつえ 岩崎 初枝さん(岱洋中区)

1月10日に100歳を迎えました。終戦後に荒尾へ移住したのち、荒尾競馬場のアナウンスや呉服屋、生命保険会社に勤めながら、3人の子どもを育てました。趣味は、読書や編み物、グラウンドゴルフなど、常に新しいことに関心を持ち、考え方がポジティブです。長寿の秘訣は、周り積極的にコミュニケーションをとり、大きな声で会話をすることだそうです。

1/31

熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰を受賞

社会福祉の向上に著しい功績があり、他の模範となる人に贈られる「熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰」を、民生委員・児童委員の和田 町子さん(向陽台)が受賞し、県庁で表彰式が行われました。受賞した和田さんは、長年にわたる地域の見守り活動や、地域活動を15年以上積極的に行い、市の地域福祉の推進に貢献しています。

